

改築事業③



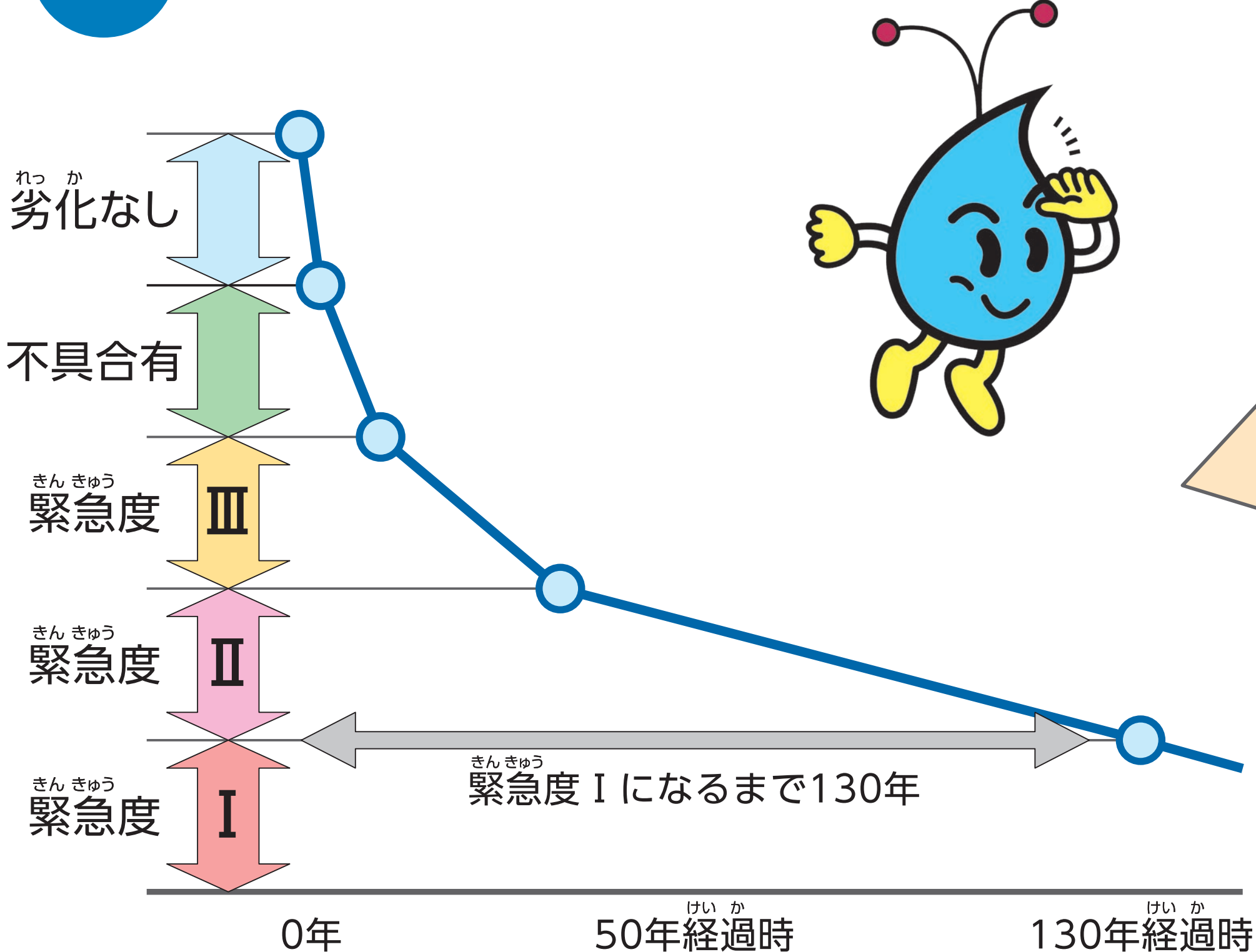
処理施設の土木・建築構造物の改築方針

材質が同じで、供用条件も類似しているコンクリート管の劣化予測を踏まえ、最長130年の使用を目指して、劣化箇所を修繕しながら、可能な限り延命化を図ります。

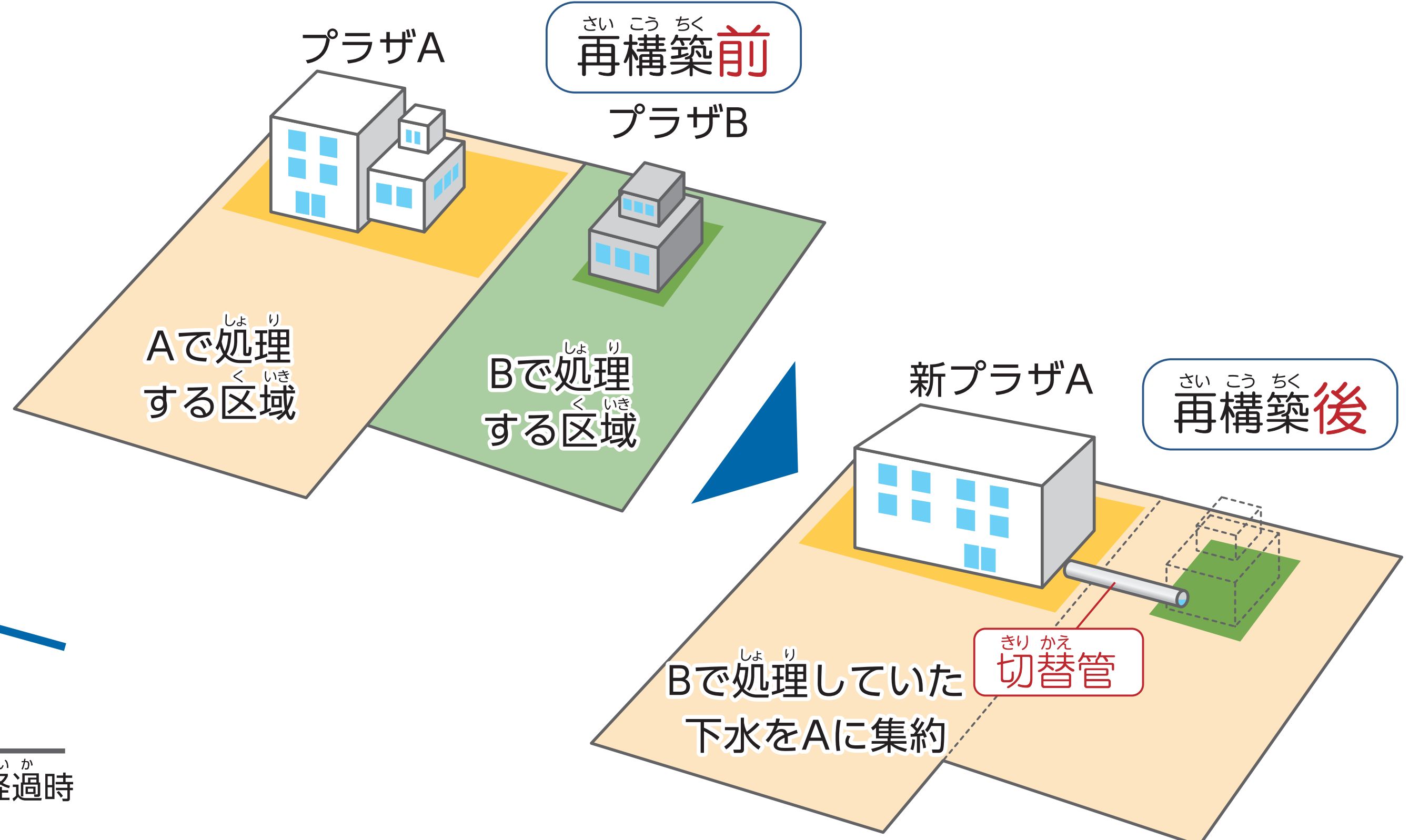
今後、改築するにあたっては、将来の人口減少に応じて、施設のダウンサイジングや統廃合など施設規模を適正化します。図1

その場合、図2のとおり、事業費を約4割縮減できると試算されます。

図1

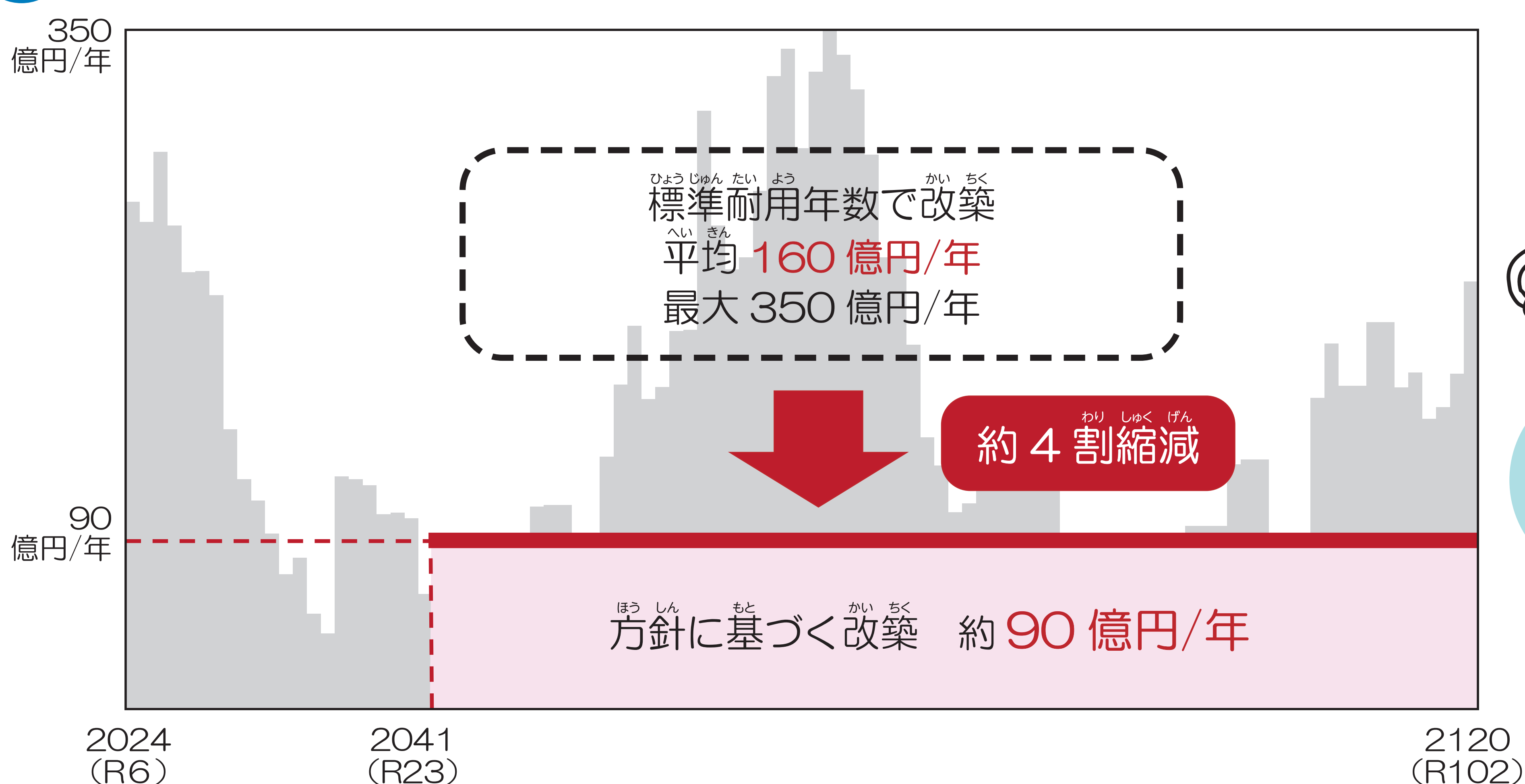


本管の劣化予測 (再掲)

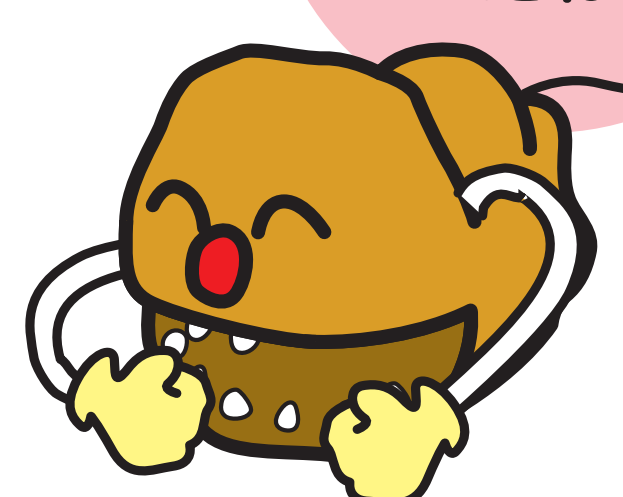


統廃合による規模適正化

図2 事業費の試算結果



維持や管理って大事だね



4割も縮減できるんだね

